

ワクチンで救える命、 1日4,000人。

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV) は、開発途上国へワクチンを贈り、子どもたちの笑顔と未来を守るために活動する民間の国際支援団体です。(1994年創設)



私が幼い頃、日本は当時の先進国から医薬品やミルクを援助してもらい、多くの恩恵を受けました。受けたら、今度は恩返しをする。「おたがいさま」の精神、「ありがとうのキャッチボール」をする気持ちで活動を続けています。

創設者

細川 佳代子 メッセージ

JCVワクチン支援活動のあゆみ

- 1994 JCV創設
- 1996 ミャンマー支援開始 
- 2002 NPO法人格取得
- 2005 竹下景子さんワクチン大使に就任
和田毅選手「僕のルール」開始
- 2006 認定NPO法人認可取得
- 2007 ラオス支援開始 
- 2008 ブータン支援開始 
ミャンマーサイクロン被害緊急支援
- 2010 バヌアツ支援開始 
- 2011 東日本大震災被災地支援 
「JCV子どもの笑顔プロジェクト」
開始(～2014年)

緊急支援



- 2010 タジキスタン 
- 2011-14 ソマリア 
- 2012-13 マダガスカル 
- 2013 シリア 
- 2015 パキスタン 

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
〒108-0073 東京都港区三田4-1-9 三田ビルサイドビル8F

☎03-5419-1081

(受付: 月～金 9:00～17:00)

メール info@jcv-jp.org

www.jcv-jp.org

世界の子どもにワクチンを



ワクチンで助かる ちいさな命を 救いたい。



世界の子どもに
ワクチン
日本委員会
JCV
Japan Committee
Vaccines for
the World's Children

感染症の脅威と、ワクチンの支援の必要性。

感染症は、グローバル化による人の移動と共に、瞬間に広がりました。特に医療が行き届かない途上国では脅威となり、予防のためのワクチンが、子どもたちの命を守るために大きな効果を発揮します。

ワクチンの価格は、一人分わずか20円。

ワクチンの価格はとても安価です。ポリオワクチンであれば、一人分わずか20円で支援することができます。



ワクチン価格表

ポリオ (小児まひ)	約20円
MMR (はしか、おたふくかぜ、風疹)	約225円
BCG (結核)	約25円
MR (はしか、風疹)	約105円
DPT (ジフテリア、百日咳、破傷風)	約25円
五価ワクチン (DPT+B型肝炎+Hib)	約160円

1USD=138.66円/2022年12月時点 (毎年更新)

JCVの活動

01 | 贈る

子どもたちへのワクチン支援

皆さまからお預かりしたご寄付を、支援国からの要請にもとづいてワクチンや関連機器に換え、現地の国連機関UNICEFや保健省と協力して子どもたちへ届けています。



02 | 広める

ワクチン支援の必要性を伝える啓発活動

感染症の脅威やワクチンの重要性を伝え、国際支援やボランティアへの理解を深めることを目的に、スタッフによる講演など、様々な活動を開催しています。



03 | 未来につなげる

子どもの未来につながるその他の支援

ワクチン支援に限らず、大規模災害発生時には、被災した子どもたちへの支援活動を行っています。

- ミャンマーサイクロン (2008年)
- 東日本大震災 (2011~2014年)



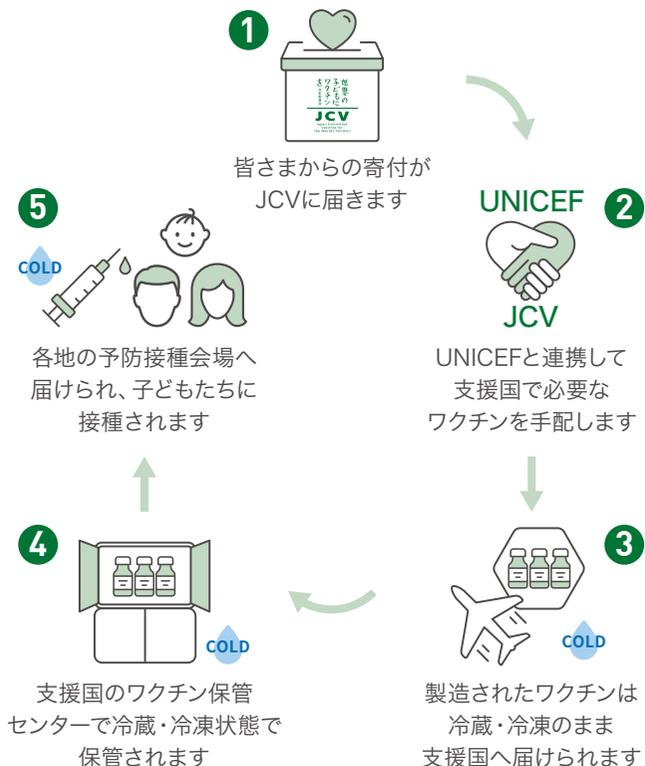
? ワクチン支援に必要な関連機器とは?

ワクチンを子どもたちに接種するためには、ワクチンを適切な温度で管理する、コールドチェーンと呼ばれる関連機器も必要です。例えば、ワクチンを低温保管するための保冷库やコールドボックス、ワクチンキャリアー、車では入れない場所に届けるためのバイクなどです。



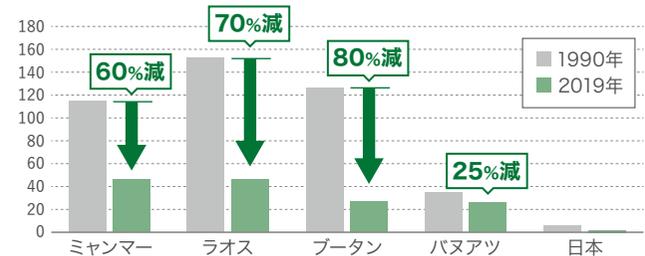
寄付がワクチンに換わるまで

お預かりしたご寄付を、UNICEFと連携してワクチンや関連機器に換え、支援国の子どもたちに届けます。



活動の成果

1990年と比べ、常時支援国の子どもの死亡率は大きく改善しました。しかし、日本と比べると現在も深刻な状況です。



引き続き皆さまのあたたかいご支援が必要です。